



# 秋田県立比内支援学校 かづの校 教育プラン

## I 学校の現状と課題・学校を取り巻く将来の状況の予測

### 【学校の現状】

- 令和3年度の児童生徒の在籍数は小学部10名、中学部14名、高等部26名の計50名である。愛着障害や不登校等、障害の多様化に対応するために、教師の指導力向上が求められている。福祉型障害児入所施設「東山学園」から約3割が通学しており、卒業後、地元に戻ったり、鹿角市で生活したりするため、早期から関係機関と連携し、進路先や日中活動の場を探している。生徒が希望する進路決定に向けて、新たな職場開拓やキャリア教育の充実を図っている。
- 「学校は小さな社会、地域は大きな教室だ」を合言葉に、恵まれた自然環境や地域の優れた人材（アップルサポーター）を活用した本物の体験を通して「本物の力」の育成を目指している。伝統的な花輪ばやしへの参加をはじめ、小学部は近くの老人施設との交流、中学部は花輪中学校やさくら保育園との交流、高等部は近隣の高等学校や横丁（町内会）との交流を継続している。毎年、花輪商店街での清掃活動や花いっぱい交流、NEXCO東日本とのコラボによる花輪SA花壇設営も実施している。
- 平成30年度に文部科学省委託「特別支援教育に関する実践研究充実事業」研究推進校指定を受け、公開研究会を開催した。その成果を発展させながら、全職員の授業力の向上と、授業目標を達成するために、ICTの有効的な活用にも取り組んでいる。
- センター的機能は、鹿角市・小坂町教育委員会との連携ができており、地域研修会の開催や研修会への協力体制が軌道に乗っている。障害理解の出前授業の回数が増えており、更に地域の人々の意識改革を図る必要がある。

### 【課題】

- 良好な人間関係を築くことが苦手だったり、自己肯定感や自己有用感が低かったりする児童生徒が増えており、「おだやかに、ゆるやかに、ていねいに」を基本とした指導が必要である。定期的な個別面談や実践的な自立活動の指導に加えて、日々の何気ない会話から解決の糸口を一緒に探し、心理的な安定を図ることが不可欠である。また、東山学園や児童相談所等の関係機関と連携しながら、問題行動の予防的かつ組織的な対応も課題である。
- 地域の園、小・中学校、高等学校が自校解決力を高めるために、上級コーディネーターや通級指導教室担当者との連携、職員研修会や相談会を通して、人が変わっても校内支援体制が機能する方策を一緒に考えていかなければならない。

### 【学校を取り巻く将来の状況の予測】

- 今後5年間、児童生徒数は45名前後で推移すると思われる。更に、地域にかづの校の魅力を発信し、教育相談や学校見学につなげたい。また、東山学園からは措置入所、年度途中の入所などの可能性があり、二次障害や生徒指導の難しいケースが増えることが予想される。

## II 目指す方向性・学校像や幼児児童生徒の姿

### 【目指す学校像】

- 安全で明るく、きれいな学校
- 地域を笑顔と元気にする学校
- 子どもたちの夢を叶える学校

### 【目指す児童生徒の姿】

- 健康・・・心身ともに健康になろうと努力する子ども
- 誠実・・・喜びをもって精一杯努力する子ども
- 自立・・・自分のことは自分の力で成し遂げようと努力する子ども

### Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

具体的な目標・取組	推進指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>○文部科学省委託の実践研究充実事業を活用した授業改善と職員の専門性向上</li> <li>・「かづの授業づくりスタンダード」の具現化</li> <li>○「学校は小さな社会、地域は大きな教室だ」を合言葉に、本物の体験重視</li> <li>・日々の学校での学びと地域学習との計画的な関連付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業づくりのツール（人と関わる力段階表、授業づくりチェックリスト）を活用した授業づくりや一人一授業研の継続</li> <li>・「かづの授業づくりスタンダード」の実践と定着</li> <li>・全校縦割り活動によるりんごプロジェクト・全校体力づくり・清掃活動、アップルサポーターを活用した活動、花いっぱい運動やリンゴレンジャー公演などの地域貢献活動の充実</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の自立と社会参加を目指す教育活動の充実</li> <li>・共生社会の実現を目指したインクルーシブ教育の推進</li> <li>○卒業後の生活が豊かになるキャリア教育の充実</li> <li>・地域の人材を活用した作業学習の充実と作業製品の質の向上</li> <li>・進路学習・職業教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校（園）間交流の内容の充実 小～花輪小、柴平小、わんぱくハウス 中～さくら保育園、花輪中、小坂中高～十和田高、小坂高、花輪高</li> <li>・居住地校交流実施率向上 小：60% 中：40%</li> <li>・障害理解の出前授業の推進</li> <li>・高校生ボランティア養成講座の開講</li> <li>・ミニ学校展の開催（年2回）</li> <li>・作業製品改善会議の開催（年2回）</li> <li>・地域の専門家による作業製品への助言</li> <li>・希望する生徒の就職率100%達成</li> <li>・関係機関と連携した就労先開拓促進</li> <li>・かづの校キャリアパスポートの活用</li> <li>・正しい自己理解の促進</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の学校等への自校解決体制構築のための支援充実</li> <li>・幼・保、親子教室への支援</li> <li>・地域の職員全体研修会とのコラボによる地域研修会開催</li> <li>・地区高校3校への支援充実</li> <li>・職員の専門性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の幼保・学校等での園内・校内研修のニーズに応じた内容の充実</li> <li>・親子教室への協力（年5回）と、定期的な関係機関との情報共有</li> <li>・鹿角地区職員研修会で話題提供と相談会の実施（年2回）</li> <li>・上級コーディネーターとの連絡会の開催（年1回）</li> <li>・高校支援隊としての各校研修会開催（年1回）</li> <li>・校外研修会や地域の小・中学校の授業研究会への参加（一人1回以上）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地教委・自立支援協議会との連携強化</li> <li>・就学前→就学後→通級指導教室との関わり</li> <li>・医療・福祉・教育の連携システムの具体化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花輪小・中学校の通級指導教室担当との連携強化</li> <li>・鹿角・小坂教育支援員会への出席（年4回）</li> <li>・鹿角・小坂自立支援協議会への協力（子ども部会・大人部会 各年2回）</li> </ul>

